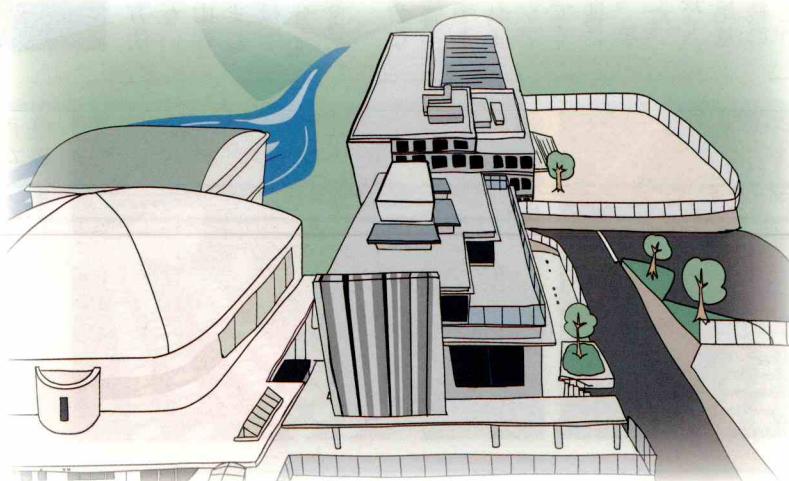


鈴峯通信

P.M.

■発行
広島修道大学附属
鈴峯女子中学校・高等学校
〒733-8622
広島市西区井口4丁目7-1
TEL (082) 278-1101
<https://www.shudo-u.ac.jp/fuzoku/>
■印刷
(株)中本本店



高校三年生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんは校名改称に伴い、「鈴峯」という名称がある最後の卒業生となつた。また、旧校舎から新校舎へ、平成から新元号へといった転換のときの卒業生でもあり、感慨深いものがある。私はみなさんと一年間（正味十か月?）しか接することができなかつたが、随分と堪能させていただいた。いや、この出会いに感謝の気持ちしかないと言つたほうが正しいだろうか。

まず、六月の合唱祭のこと。「必ず泣きますよ」と、合唱祭の前評判についてある生徒が言つてきた。それは間違いなかつた。完成度の高い歌声もさることながら、圧倒的なまとまりに心が震えた。表彰式後、三年生すべてが最優秀クラスを称賛し、達成感を共に分かち合つた。涙腺が崩壊してしまつた。次に、九月の体育祭のこと。またしても三年生の術中にはまつてしまつた。ダンス演舞での躍動感は凄まじかつた。残暑と石拾いのために準備不足は否めなかつたが、持ち前の度胸と笑顔で踊り切つた。退場後の歓声沸き上がる写真撮影も体育祭の一種目かのようだつた。私を含め観客席を釘付けにしてしまつた。そして、受験前の面接指導のこと。校長室に訪れた二十数名の面接指導をさせていただいた。その中の一人の生徒が、指導の終盤で大粒の涙を流してしまつた。申分のない万全の受答えだつたが、不安を訴えてのことだつた。その素直さが感に堪えなかつた。そのとき、人として大切な情感を気づかされた気がした。すなわち、「縁」です。さまざまなかんがいが心に刻み込まれた。みなさんと、そして、本校との出会いに感謝しかない。

さて、みなさんは卒業という節目にあたり、誰に感謝やお礼の気持ちを示すのだろうか。親、先生、友だち、人それぞれであろうが、是非ともその人に「ありがとう」と直に伝えて欲しい。日本語においてこの言葉ほど清々しくも発する人の情意が込められている言葉はないのだから。

想いを込めて、「ありがとう」と。

校長 白岩博明

「ありがとう」



陸上男子100mの山縣亮太選手（26歳）が、1月24日に本校に来校し、生徒たちと質疑などを通じて交流しました。今回は、広島西口一タリークラブの協力を得て、本校のインタークトクラブが開催しました。

山縣亮太選手は広島市西区出身で、鈴が峰小学校・修道中学校・修道高等学校・慶應義塾大学卒業後、セイコーホーリデイングスに入社されました。ロンドン・リオデジャネイロと2大会連続オリンピックに出場し、リオデジャネイロで銀メダルを獲得されました。2018年のアジア大会（ジャカルタ）では、4×100mリレーで金メダルリレーで銀メダルを獲得されました。

山縣亮太選手は、4×100mリレーで銀メダルを獲得されましたが、2018年のアジア大会（ジャカルタ）では、4×100mリレーで金メダルを獲得されました。その後は、じやんけん大会などで交流し、じやんけんに勝った4名の人が山縣亮太選手からサインをプレゼントされました。オリエンピックやアジア大会のメダルも持ってきてください、それを多くの生徒に触らせてくださいました。生徒は大喜びをしていました。

山縣亮太選手に聞いてみよう」と題して、生徒・保護者、地域の方々の前で質問を重ねました。「緊張しないためには、陸上競技をしてよかつたこと

人生に役立つ言葉を聞けた」と感激していました。

山縣亮太選手本当にどうもありがとうございました。そして、2020年の東京オリンピックでも、私達に感動を与える走りを見せてくれます。応援しています。

山縣亮太選手来校



とは、「リフレッシュする方法は」「プレッシャーに負けないためには」などの問いに山縣亮太選手は回答されていました。「壁にぶつかったときは」との質問に対しても、「自分を成長させるチャンスだと思う」と回答されました。

その後はじやんけん大会などで交流し、じやんけんに勝った4名の人が山縣亮太選手からサインをプレゼントされました。オリエンピックやアジア大会のメダルも持ってきてください、それを多くの生徒に触らせてくださいました。生徒は大喜びをしていました。

山縣亮太選手に聞いてみよう」と題して、生徒・保護者、地域の方々の前で質問を重ねました。「緊張しないためには、陸上競技をしてよかつたこと人生に役立つ言葉を聞けた」と感激していました。

山縣亮太選手本当にどうもありがとうございました。そして、2020年の東京オリンピックでも、私達に感動を与える走りを見せてくれます。応援しています。

歌留多大会

1月に中学・高校1年生の百人一首かるた大会が行われました。中学は中3Aチームが優勝し、高1は1年4組1班が、クラスでは1年3組が優勝しました。



卒業されるみなさんへ

高校教頭
佐藤 正典

卒業を迎えたみなさま。おめでとうございます。みなさんも高校生活を送られた3年間、日々にすると1000日を超えますが、みなさんが一人ひとりに1000日を迎えることになりました。一方、学校も新校舎建設という学校の歴史の中でも大きな出来事があり、みなさんもその中で今日という日を迎えることになりました。

さて、その1000以上の出来事の一コマに、みなさんが毎朝の登校時に必ず目にしてきた「報恩感謝実践」の文字が刻まれた校訓碑の新校地への移設がありました。移設された校訓碑は昭和55年度から昭和61年度までの卒業生から贈られたもので、碑の書は哲学者で広島大学名誉教授の山本空外先生にご揮毫いただいたものです。広島出身の空外先生はご自身も原爆に遭われるとともに、多くの教え子を失いました。「争いの繰り返しは人類破滅にほかならない」と先生は大學で教鞭をとられるとともに僧侶になります。



として真の平和を希求されました。自分と相手がよい関係を保つためには、相手を受け容ること、相手を受け容れには、自分の心の深さがなければならない。それがないと争いになり、共倒れになってしまいます。そうならないためには相手を生かして、自分のはたらきを実らせる「無二的時間の形成」を説かされました。

先生の説かれた道は「天地万物の恵みによって生かされていることに感謝しよう。それが感謝の気持ちを日々の生活中で実践していくこう」という校訓の趣旨に通じるものがあります。みんなの卒業にあたり、校訓碑のいわれをお伝えしておきます。

また、校訓碑の移設にあたり、学校創立時の施設で唯一旧校地に残っていたグラウンドと校舎を結んでいた石造りの階段の一部を新校地での校訓碑の基礎部分として移しました。みんなさんが移動時に利用した階段。登校時に仰ぎ見た校訓碑。そのいずれもが新校地での新たな学校生活を送る生徒のみなさんを見守っています。

学校生活の大半を旧校地で過ごしたみなさんは、70年以上の本校の伝統を新しい校地に吹き込む役目を果たされました。みんなの母校はここにあります。



**生徒指導部長
佐々木 公子**
夏休みに校舎の引っ越しをして、そして2学期が始まりました。今年の文化祭は、その新しい校舎での文化祭。新校舎での初めての文化祭でしたが、「鈴峰女子」という名称での文化祭は今回が最後となりました。学校の改革の時、2019年度から「広島修道大学ひろしま協創中・高等学校」、「共学」となります。より、多くの方に学校を見ていただきたいという思いもあり、招待券制度を廃止しました。そのおかげもありました。

各学年とも一生懸命の取り組みを行ってくれ、感激するような場面にも多く出会いました。中学生は学習発表を中心には頑張っていました。授業発表・行事等の紹介もありますが、何よりもスタディホールにおいての国際交流等の発表は素晴らしいものでした。高校1年生は、各クラスが趣向を凝らして制作発表を行い、多くの方にお褒めの言葉をいただきました。高校2年生は、ゲーム企画や制作を中心に行いました。楽しい様子は、ほぼえましかつたです。高校3年生は、各クラスで企画運営を行う食品バザーです。毎年ながら盛況で、お客様対応に頑張ってくれ、ラブが全校生徒の前で、パ

祭は今年が最後となりました。さすがに文化祭でしたが、「鈴峰女子」という名称での文化祭は今回が最後となりました。学校の改革の時、2019年度から「広島修道大学ひろしま協創中・高等学校」、「共学」となります。より、多くの方に学校を見ていただきたいという思いもあり、招待券制度を廃止しました。そのおかげもありました。



いと、このままでは、文化祭当日のみでの発表でしたので、なかなか見ることができなかつた友人のパフォーマンスを100%堪能できました。

また、各学年の頑張りもさることながら、三鈴会・同窓会にもご協力をいただき、生徒の運営を支えていただいた感覚入る文化祭でした。

本校校長は、2学期終業式において生徒を前に次のように話をしていました。「本校が今年を表す『縁』としたい。どこかで誰かと交流をするかもしれない。その出会いを大切にし、出会った人を大切にし、新しい学校を作つていただき。」と。

文化祭も新しい学校が進化するのと同様に、次年度の内容をアップしていくことを願っています。

2日目には、高校3年コミニケーション英語の授業や高校3年地歴の授業、数学の授業などに参加して日本語による授業体験や、茶道、茶道体験をしました。その後、放課後には

部の体験授業にも参加し、初めて体験する日本文化にダートフォードの生徒たちはとても興奮していました。

3日目は文化祭のステージ発表を本校生徒と共に鑑賞しました。筝部、ダンス部、ギター部、吹奏楽部、演劇部などの発表を体育館で本校生徒と一緒に楽しみました。

4日目は修道大学の学生と一緒に宮島出かけ、世界遺産の厳島神社見学と大聖院での座禅を体験しました。

最終日は文化祭で各自自由に文化祭を楽しみました。本校出発前にダートフォードの生徒たちがスタディホールでお別れのゲームとパフォーマンスを披露してくれました。その後、彼女たちはホストファミリーとのお別れを惜しみながらバスで本校を後にしました。

ダートフォードの生徒たちとの交流 자체は短い期間でしたが、ホストファミリーを引き受けてくれた生徒たちはこの訪問のためにいろいろ準備し、メールでの事前のやり取りなどを行いました。遠いイギリスの学校からの訪問は、本校生徒にとってもよい刺激になつたようです。

新しい校舎での文化祭

ダートフォードグラマーグループスクール訪問

**庶務部
国際交流担当
清田 かおる**



半頃本校に到着しました。放課後全校生徒が第1体育館に集まり、入校式を行いました。平和公園を見学して午後2時月30日火曜日に広島到着後、

その後ホストファミリーの家族や寮生たちに連れられてそれぞれの滞在先に分かれて宿泊しました。

その後ホストファミリーの家庭で各自が自由に文化祭を楽しみました。

本校出発前にダートフォードの生徒たちがスタディホールでお別れのゲームとパフォーマンスを披露してくれました。

その後、彼女たちはホストファミリーとのお別れを惜しみながらバスで本校を後にしました。

ダートフォードの生徒たちはこの訪問のためにいろいろ準備し、メールでの事前のやり取りなどを行いました。遠いイギリスの学校からの訪問は、本校生徒にとってもよい刺激になつたようです。

国際大会優勝!
ソフトテニス
濱島怜奈さん・尾上胡桃さん



尾上胡桃さん(右前)



濱島怜奈さん(左から3番目)

本校ソフトテニス部所属の濱島怜奈(中学生3年生)さんが、第3回世界ジュニア選手権大会(2018年11月19日~23日・韓国・順天)において、U-15女子シングルス優勝、U-15女子ダブルス準優勝、女子国別対抗団体戦優勝という快挙を達成しました。

【部活動の結果】

高校ソフトテニス部

平成30年度広島県高等学校ソフトテニス新人選手権大会 兼 全日本・中国地区高等学校選抜ソフトテニス大会広島県予選 兼 広島県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会予選 兼 ハイスクールジャパンカップシングルス予選大会

(個人戦) 2018年10月27日・28日・広島中央テニスコート、(シングルス) 2018年11月4日・呉市総合スポーツセンター・テニスコート、(団体戦) 2018年11月10日・11日・びんご運動公園テニスコート)

個人戦 優勝 浅見今日子(1-1)・武市明香里(1-2)組
3位 内湯侑杏(1-2)・森川愛月(1-1)組
5位 秋葉はるか(1-3)・石井日菜乃(1-3)組
シングルス 優勝 内湯侑杏(1-2)
3位 浅見今日子(1-1)

以上の結果、内湯侑杏(1-2)さんは、2019年6月18日から北海道で開催される、ハイスクールジャパンカップの出場権を獲得

団体戦 優勝 (決勝リーグ3戦全勝)
浅見今日子(1-1)・武市明香里(1-2)・内湯侑杏(1-2)・森川愛月(1-1)・秋葉はるか(1-3)・石井日菜乃(1-3)・細川学(4年)さんが受賞されました。尾上胡桃さんは、全日本シングルス選手権大会(2018年8月28日~9月1日・ジャカルタ・パレンバン)でのソフトテニス女子団体で金メダルを獲得したことにより受賞されました。中国スポーツ賞は、1952年に創設されたもので、その年の国内外で活躍した中国地方ゆかりの選手やチームを称える賞です。

**第44回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会
中国予選会**
(2019年1月18日~20日・福山ローズアリーナ)

団体戦 1位リーグ3勝1敗で準優勝
長延実咲(II-2)・細川さくら(II-1)組、

浅見今日子(1-1)・武市明香里(1-2)組、秋葉はるか(1-3)・石井日菜乃(1-3)組以上のお結果、2019年3月27日~30日に愛知県で開催される、第44回全日本高等学校選抜大会に出場決定

内湯侑杏(1-2)・森川愛月(1-1)組、秋葉はるか(1-3)・石井日菜乃(1-3)組以上のお結果、2019年3月27日~30日に愛知県で開催される、第44回全日本高等学校選抜大会に出場決定

器械体操部

平成30年度広島県高等学校体操競技・新体操新人大会
(2018年11月24日~25日・広島県立総合体育館小アリーナ)

個人総合 2位 梅木唯伊(II-3)
7位 梅木寿鈴(II-2)
2位 梅木唯伊(II-3)

種目別 平均台 1位 梅木唯伊(II-3)
7位 梅木寿鈴(II-2)
2位 梅木唯伊(II-3)

種目別 段違い平行棒 6位 梅木寿鈴(II-2)
7位 梅木唯伊(II-3)
2位 梅木唯伊(II-3)

新体操部
新人大会
(2018年11月16日・広島市佐伯区スポーツセンター)

個人総合 1位 吉市恵瞳(1-3)
2位 辻歩美(1-1)
3位 小倉真佳(II-4)

種目別フープ 1位 古市恵瞳(1-3)
2位 辻歩美(1-1)
3位 小倉真佳(II-4)

種目別ボール 1位 古市恵瞳(1-3)
2位 辻歩美(1-1)
3位 小倉真佳(II-4)

バトン部

第35回バトンワーリング中国大会
(2018年10月21日・広島県立総合体育館)

コンテストの部 金賞

鴨野舞(III-2)・廣田雅(II-2)・山田菜月(II-1)・荒井琴海(I-1)・尾玉蒼唯(I-1)・大石日菜梨(3A)・木原彩伽(3A)・平尾優奈(1A)

以上の結果、12月8日・9日に千葉県幕張メッセで開催される全国大会に出場決定

第46回バトントワーリング全国大会

(2018年12月8日・9日・千葉県幕張メッセ)

コンテストの部 銀賞

鶴野舞(Ⅲ2)、廣田雅(Ⅱ2)、山田菜月(Ⅱ1)、荒井琴海(Ⅰ1)、児玉蒼唯(Ⅰ1)、大石日茉梨(3A)、木原彩伽(3A)、平尾優奈(1A)、池田麻代(Ⅲ5)、佐伯明美(1A)

**第44回全日本バトントワーリング選手権中国支部大会**

(2019年1月12日・13日・広島県立総合体育館)

高校ダンストワールの部 5位 鶴野舞(Ⅲ2)
高校ソロトワールの部 4位、高校ツーバトンの部 3位 山田菜月(Ⅱ1)
高校ペアの部 5位 廣田雅(Ⅱ2)・児玉蒼唯(Ⅰ1)

高校スリーパトンの部 4位 平尾優奈(1A)
中学ダンストワールの部 10位 児玉蒼唯(1A)
アーティスティック ジュニアI部門 優勝、中学スリーパトンの部 3位 藤賀藍水(2A)

以上の結果、山田菜月(Ⅱ1)さんは、3月に大阪市中央体育館で開催される、全日本大会の2部門の出場権を獲得し、藤賀藍水(2A)さんは、3月に大阪市中央体育館で開催される、全日本大会の2部門の出場権と、第10回WBTFインターナショナルカップ日本代表選考への出場権を獲得得

第3回広島県高等学校ダンスフェスト

(2019年1月20日・安芸区民文化センター)

バトン大賞、特別賞

鶴野舞(Ⅲ2)、廣田雅(Ⅱ2)、山田菜月(Ⅱ1)、荒井琴海(Ⅰ1)、児玉蒼唯(Ⅰ1)、大石日茉梨(3A)、木原彩伽(3A)、平尾優奈(1A)

**第3回広島県高等学校ダンスフェスト**

(2019年1月20日・安芸区民文化センター)

ダンス部

ダンス大賞

郷野遙(Ⅱ2)・前田菜々花(Ⅱ3)・石丸凜(Ⅰ1)・宮川妃凪(Ⅰ1)・村上舞(Ⅰ2)・岡本愛美(Ⅰ3)・中島寿梨(Ⅰ3)

以上の結果、北九州市で開催される、全日本高等学校チームダンス選手権に出場決定

なぎなた部

井上芽(Ⅱ1)・谷口香穂(Ⅱ1)・道本雨菜(Ⅱ1)・内田早郁(Ⅱ2)・松下奈々実(Ⅱ2)・嶋崎優深(Ⅱ3)・大杉咲綾(Ⅰ1)・金市菜里(Ⅰ2)・大畠有純(Ⅰ3)・白土樹里(Ⅰ3)

個人の部 優勝 佐藤心美(Ⅱ3)
演技の部 2位 木山虹那(Ⅱ3)・坂本玲奈(Ⅰ3)組
団体の部 優勝(7度目の優勝) 佐藤心美(Ⅱ3)・杉原桜優(Ⅱ3)・坂本玲奈(Ⅰ3)さんが個人の部に、佐藤心美(Ⅱ3)さんが個人の部の出場権を獲得

第24回広島県高等学校なぎなた新人大会

(2018年12月12日・広島市南区スポーツセンター)

セントナー

個人の部 優勝 佐藤心美(Ⅱ3)
演技の部 2位 木山虹那(Ⅱ3)・坂本玲奈(Ⅱ3)組
団体の部 優勝(7度目の優勝) 佐藤心美(Ⅱ3)・杉原桜優(Ⅱ3)・坂本玲奈(Ⅰ3)さんが個人の部に、佐藤心美(Ⅱ3)さんが個人の部の出場権を獲得

中学ソフトテニス部

(2018年11月23日・びんご運動公園テニスセンターハイ)

スコート

女子団体戦 優勝 柴田帆乃果(2A)・吉田野乃(2A)・原野湊(1A)・村上心美(1A)・森脇陽香(1A)

第31回中国地区中学生ソフトテニスインドア大会

(2018年12月26日～28日・鳥取県民体育馆)

女子団体戦 準優勝 柴田帆乃果(2A)・吉田野乃(2A)・原野湊(1A)・村上心美(1A)・森脇陽香(1A)

第23回穴吹カレッジ高校生デザイン大賞

入選 石川きらり(Ⅲ4)・吉川うる(Ⅲ4)
マ「ここから踏み出す一步」 優秀賞 上野愛(Ⅱ1)
佳作 奥江七海(Ⅱ1)

広島修道大学2018作文コンテスト

テー

マ「ここから踏み出す一步」

上野愛(Ⅱ1)

野湊(1A)・村上心美(1A)・森脇陽香(1A)

その他の
入選 石川きらり(Ⅲ4)・吉川うる(Ⅲ4)
マ「ここから踏み出す一步」 優秀賞 上野愛(Ⅱ1)
佳作 奥江七海(Ⅱ1)

第26回広島県中学生ジュニアソフトテニス選手権大会

(2018年11月23日・びんご運動公園テニ

スコート

柴田帆乃果(2A)・吉田野乃(2A)・原

野湊(1A)・村上心美(1A)・森脇陽香(1A)

中学ソフトテニス部
手権大会
(2018年11月23日・びんご運動公園テニスセンターハイ)





12月に弁論大会が行われました。ここに、各学年の最優秀者の原稿を掲載します。

愛を望む子どもたち

三年A組 十三番

塚前 栄南

「もうおねがいゆるして。」今年3月に亡くなつた船戸結愛ちゃん(当時5歳)がノートに記していた言葉が、日本中に大きな衝撃を与えている。

6日、警視庁は父親の船戸雄大容疑者と母親の優里容疑者を保護責任遺棄致死の疑いで逮捕した。二人は今年1月頃から東京・目黒区のアパートで結愛ちゃんと十分な食事を与えずに入院させ、医師の診察も受けさせず死亡させたとみられている。発見時、体重は平均の19kgを大きく下回る12kgで、両目の下にはアザ、身体には複数の傷があつたといい、死因は栄養失調が原因とみられる肺炎だった。児童虐待である。みなさんはこの話を聞いて何を感じるだろう。私はどうして絶対あつたはならない児童虐待がおきてしまつたのか。どうにかならなかつたのか。なぜ、最後まで救うことができなかつたのか。沢山の疑問。そして自分とは関係なくともこうして幼くして虐待で亡くなつてしまう子どもがいるこの残酷な世界にも目を背けてはならないのだと現実を見せられたような気持ちになつた。

結愛ちゃんは過去に一度も児童相談者に保護されている。一度目は暴力を逃れるためパジャマ姿でいたと

ころを保護。しかし翌日、自宅前にいた結愛ちゃんの口にアザがあつたことで再び保護されることになつて、生きていよかつたね。

まだ五歳の子どもが自分から虐待を訴えるなんて難しいだろうし、だからこそ社会が認め、育っていく仕組みを作り、事件になる手前で止めることが重要なのだ。家族構成や離婚など複雑な関係があつたとしても、何の罪もない子供が死ぬことは絶対あつてはならないし、一度できた傷は癒すことはできても消えることはないから。

また今回の事件でもそうだが、雄大容疑者が、
「しつけとして平手で叩いた。空の浴槽に入れて水のシャワーをかけた。」
と語っていることから、
「しつけの一環」として虐待をするケースもある。しかし、いきすぎたしつけ、ましてや手を出すなんてことをしまつては、それは「しつけ」ではなく、「ただの暴力」に過ぎないのだ。しつけをして行きすぎな行為をすることは決して許されることではないと私は思つた。

しかし、それでも子どもは愛されことを望む。殴られようが蹴られようがその子にとっては親がすべてだから。頼れる人なんてまだ幼い子どもにとっては親しかそうしないのだ。じやあ親が愛さなかつたら誰が愛するんだろう。それでも親しかいないのだ。だから子どもは親に認めてもらおうとするし、親を守るために自分は大丈夫だと繕う子もいる。だからこそ周りが気づけないこ

ともある。誰だって同じように愛のある家に生まれて笑いあって、「生きてよかつたね。」が当たり前になることを願うばかりだ。

差別のない社会を

一年四組 一番

安藤 里恵

みなさんは、差別を受けたことがありますか。知らないうちに差別を受けていたとしたらどう思いますか。今年の夏、それまで、日本は平等な国だと思っていた私の考え方をくつがえすようなニュースが飛び込んできました。某大学の医学部による不正入試問題です。女性や浪人生の点数が低くなるように操作されたのです。その大学がきっかけになりました。その後、現状も調査が行われています。

受験は、全員平等であると思つたし、そうでないといけないはずなのに、「女だから」という理由で差別されてしまうのです。私はショックを受けると同時に怒りさえ感じました。「女である」というだけで減点されるのはなぜでしょうか。大学側の説明は「女性は医師になつたあと、家庭の都合などで仕事のできない時期があるから。」女性は長時間労働や夜勤などで体力がもたないから。というものです。これが理由として通るなら、医学部だけでなく、他の様々な学部でもあります。「男女は平等」とされているこの国で、女性は常に減点され続けることになります。このような事を考えて、将来の事が心配になつてきます。あなたは差別のある社会に何を思い

ますか。生きにくい社会だと思いますか。

私はどうしたらこのような差別がなくなるのだろうと考えました。担が当たり前になることを願うばかりだ。

任の先生に伺うと、女性への差別は最近始まつたことではなく、長い歴史があり、むしろ男女が平等になつたのは、つい最近のことだというのです。そういうえば中学校の社会の授業で聞いたことがあるような気がして日本における女性差別について調べてみました。女性は、江戸時代まで自由に働くことができませんでした。女性に参政権が与えられたのは、一九四五年、戦後のことです。平塚

らいちょうさんたちの活躍で、ようやく実現したのです。その後、一九八五年に男女雇用機会均等法が成立しました。こうして、少しづつ格差がなくなつたということです。調べていて分かったことがあります。「平等」は自然に与えられる権利ではなく、多くの人が努力をし、戦い続けてから手に入るものだといふことです。多くの女性や、女性のことを真剣に考えて下さった男性たちがいたから差別をなくそうとする運動が起りました。身近にある差別に気付き、差別をなくそう、差別のない社会をつくりたいという思いが集まつたとき、差別が無くなる方へ動き出します。このような思いをもつことは、私たちにもできると思います。そして、その思いを大切にすることが重要です。しかし、「私は男子ではないから、大学に進まなくていいだろう。」とか「女の子は平等」とされているこの国で、

変貌を見せていく社会、もとい日常生活に着実に私達へと歩みを進めていることに、皆さんお気付きでしようか。

「将来の夢はありますか?」という質問を、よくされると思います。しかし、将来の夢とどうと、少し返答が難しいかもしれません。では、将来の自分を想像した事はありますか? つづいた職業は明確に決まつていなくても、興味のある分野や、将来どんな事をしたいか、という事なら、何となく想像できると思います。そしてきっと多くの人は、働いています。それは、

今と将来の夢

二年四組 五番

鳥山 葉

私達の周りで現在、めまぐるしい

変貌を見せていく社会、もとい日常生活に着実に私達へと歩みを進めていることに、皆さんお気付きでしようか。

「将来の夢はありますか?」という質問を、よくされると思います。しかし、将来の夢とどうと、少し返答が難しいかもしれません。では、将来の自分を想像した事はありますか? つづいた職業は明確に決まつていなくても、興味のある分野や、将来どんな事をしたいか、という事なら、何となく想像できると思います。そしてきっと多くの人は、働いています。それは、

会社員だつたり、飲食店の店員だつたり、何か物を作つたりする人かもしれません。将来、誰がどんな職業に就いているかはまだ誰にも分りませんが、働くという事は、私達の生活から切つても切れないものである事は明白です。

私達はただ単に、給与を頂くために働くのではありません。一つの会社を回すために労働し、それが集まつて地域を回し、更にそれが集まる事で社会が回り、社会が一度も止まる事無く回り続ける事で、初めて私達の日常生活が形成されています。労働をすることによって、私達は生活の対価として給与が頂けます。

しかし今、私達が将来就くであろう職業が、消滅の危機にさらされています。私達の日常生活と分かれ難い存在であるはずの職業を消し去るうとしている物、それは、機械です。

機械。産業革命以前は、重荷の移動に対しても著しい利益をもたらすものの、程度の認識でしたが、産業革命以降、ジエームズ・ワットが開発した蒸気機関を皮切りに、人工的制作物として時間や労力を削減するのに用いられてきました。更に日本では少子化、人口減少が機械の導入に拍車をかけ、ついに近代では、人間の補助なしに作業を行うことが可能である、つまり、人間の代用品に成り得る機械が登場したのです。自動掃除機であるルンバ、家にある人も多いと思います。多くの人が持つているスマートフォンでは、会社に着くと自動でマナーモードになる、イヤホンを挿すと自動でミュージックが流れれる等、スマートフォンを自動化するアプリができました。また近頃、自動車の自動運転アシスト機能の進

歩が話題になりました。そして今も、開発者らによる更なる発展、ゆくゆくは完全自動運転に向けての研究が進められています。しかしこれらは一例、いわば冰山の一角にすぎず、この他にも自動化されたもの、今後も自動化されるものは、沢山あります。

機械の誕生によって、私達の生活は激変し、とても便利になりました。しかし、その便利さに、私達は今殺されかけています。オックスフォード大学でAIの研究を行うマイケル・A・オズボーン准教授の論文では、今後二十年程度で約四十七%の仕事が自動化されるリスクが高いとされています。会計士、調査員、ネイリスト、販売員、仕立屋、修理工、映写技師、など消滅すると予想される職業は、二百を容易に超えます。

そしてその中には、皆さんが必要なと思っていた職業も含まれているかもしれません。

では、自らのなりたい職業を守るために、私達ができる事は何でしょうか。私は、自らの仕事に誇りを持つかもしれません。

一万一千人。この数字が何を示しているかわかりますか。二万一千人という数は、現在の鈴峯の生徒の約四十倍の数です。実は、これは昨年度に自殺をした人の数です。現在の鈴峯の生徒の二十倍の数、二万一千人の人数が失われていることは決して少ないとはいえない。

ある調査において、十代～二十代の男女を対象に「自殺を本気で考えたことがあるか」という質問をなげかけました。その質問に対して、約半数の人が「ある」と答えました。

「仕事が上手くいかない」「学校ではねにされている」「家庭問題を抱えている」「セクハラ、パワハラを受けている」など自殺を考える理由は様々です。

実際には、二万一千人という自殺者の数自体は減つてきているようですが、残念ながら私たちと同じような十五歳～十九歳の若い世代の自殺は増加してきています。調べてみると、一年間で約三百四十人の中高生が自殺しています。私たちと同じ

届かない声

三年二組 二十八番

西林
響

高校生がそのうち約二百四十人です。私は、この数字に驚いているとともにたいへん悲しく感じています。その一人一人にきっと様々な理由、事情があると思います。一人一人の声を聞くことは難しいですが、きっとその声は意外と身近なところで叫ばれているかもしれません。

私は今と将来の間で、機械による恩恵と重要性を深く理解し、共存について思索しながら、人々の工夫と努力によって生みだされ、受け継がれてきた職業を、当たり前で輝かしい未来を、日常のその先を、手に入れましょう。

二〇一七年七月二十四日午前七時半頃、広島市内の女子生徒が校舎四階から飛び降りました。彼女は、休憩時間や授業中などに頻繁にからかわれたり、暴言や悪口を言われました。学年が上がるにつれていじめはエスカレートし、三年生では「死ね」「消えろ」などの脅し文句が増え、彼女は自殺未遂に追い込まれました。彼女が亡くなつた後の自宅の部屋から「悪口」を言われて嫌な思いをした。生きしていくも仕方ない。などの書き置きが見つけられました。なぜ、彼女は死ぬ場所を選んだのでしょうか。私はこう考えます。

あえて学校で自殺をすることで加害者に届けたい声、伝えたいことがあつたのではないかと。彼女の両親は言いました。「娘は、私たちお菓子を作ってくれたり、マフラーを編んでくれたりする家族思いの明るい子でした。眞実が明らかになり、まだ存在しない、というだけで、これからもそうとは限りません。そもそもないために、私はここで、主張します。

代用品は代用品にすぎず、機械が機械であることは絶対不变の真理であることを、忘れてはいけません。それどんなどな職業に就いたとしても、皆さんはその職の玄人であり、自らが玄人であることの誇りを、その職の尊嚴を、決して忘れてはなりません。

私は、この数字に驚いていると同時にたいへん悲しく感じています。その一人一人にきっと様々な理由、事情があると思います。一人一人の声を聞いてあげれば良いのではないかと感じます。もしあなたの周りの人やあなたにとつて大切な人がいじめられていたら、あなたはどうしますか。

あなたが彼女たちの声を聞き、あなたの一聲によって助けられる命があるかもしれません。私は、身近な声にもつともつと耳を傾けていきました。

このようなニュースを受けて、学校側はこう謝罪しました。「遺族から相談を受けていたもののいじめと認識できず対応できなかつた」と。

あなたが彼女たちの声を聞き、あなたの声によって助けられる命があるかもしれません。私は、身近な声にもつともつと耳を傾けていきました。

あなたが彼女たちの声を聞き、あなたの一聲によって助けられる命があるかもしれません。私は、身近な声にもつともつと耳を傾けていきました。



